

Ensemble

Ensemble NOMAD 2004-05

アンサンブル・ノマド

定期演奏会 #24

指揮=佐藤紀雄/ソプラノ=羽鳥直美
ゲスト=高村 晃(ソルベーン)、藤崎和子(ハーブ)、榎本昭雄(チェロ)
出演=本ノ富雄(フルート)、菊地秀夫(クラリネット)、加藤賢子(打楽器)、宮本典子(打楽器)、
中村賢一(ピアノ)、藤尾 暁(ピアノ/電子オルガン)、野口千代史(ヴァイオリン/ヴィオラ)、
早稲葉子(ヴァイオリン/ヴィオラ)

2004年11月30日[火] 19:00開演(18:30開場)

東京オペラシティリサイタルホール
Tokyo Opera City Recital Hall

※本公演の収益は「日本オペラ協会」の活動に、協賛料金は「財団法人東京オペラシティ」に寄付されます。

チケット(1回券)：一般¥3,000・学生¥2,000(全自由席・消費税込み)

チケットが売 03(3)-42-9990 / 東京オペラシティチケットセンター 03-5323-9999

◎お問い合わせ・ご予約：

東京コンサート TEL.03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

主催：アンサンブル・ノマド/東京オペラシティ文化財団

後援：文化庁文化会館

協賛：NHK、ビーム・ミュージックファンデーション

財団法人 三善堂財団音楽文化財団

平成16年度文化庁芸術家育成基金支援事業



「音楽の教師＝ルチアーノ・ベリオ」

同時代の政治、哲学、人間科学、芸術など幅広い分野に関心を持ち、音楽を全人的な芸術として実践したルチアーノ・ベリオは、我々に“作曲家の仕事とはかく在るべき”と教え、再考を促してくれた。

ルチアーノ・ベリオ Luciano Berio (1925-2003)

セクエンツァ IV [ピアノのための] (1966) Sequenza IV for piano (1966)

ピアノ独奏/弦楽合奏

おおキング (1967) O King (1967)

指揮=佐藤紀雄/ソプラノ=羽鳥直美

本ノ富雄(フルート)、菊地秀夫(sax)、野口千代史(vcl)、榎本昭雄(vcl)、中村賢一(pft)

シュマン II (1967) Schumann II (1967)

指揮=佐藤紀雄/ソプラノ=羽鳥直美

本ノ富雄(フルート)、菊地秀夫(sax)、高村 晃(vcl)、藤尾 暁(pft-org)、藤崎和子(pft)、

宮本典子+加藤賢子(pft)、野口千代史(vcl)、榎本昭雄(vcl)

デュエツィ [2本のヴァイオリンのために] より (1979-82)

From "Duetto" for 2 violins (1979-82)

ヴァイオリン=野口千代史、早稲葉子

バレエ音楽「リネア」 (1974) Ballet "Linea" (1974)

指揮=中村賢一(pft)、宮本典子+加藤賢子(pft)

フォーク・ソングス (1966) Folk songs (1966)

指揮=佐藤紀雄/ソプラノ=羽鳥直美

本ノ富雄(フルート)、菊地秀夫(sax)、野口千代史(vcl)、榎本昭雄(vcl)、

藤崎和子(pft)、宮本典子+加藤賢子(pft)



NOMAD

2004-05/#24